

小規模企業景気動向調査

[平成29年3月期調査]

～緩やかな回復の兆しが見えるも、資金需要は低迷し、なおも弱い動きが続く小規模企業景況～

2017年4月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…緩やかな回復の兆しが見えるも、資金需要は低迷し、なおも弱い動きが続く小規模企業景況…◇

3月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変であった。項目別では、売上額DIと採算DIが小幅改善、資金繰りDIはわずかな改善に留まった。経営指導員からは、例年よりツアー客、海外旅行客が増加傾向であり、今シーズンは、地域経済への波及効果にも期待していると報告がある一方で、極端な悪化は見られないものの、景況全体としては消費の伸び悩みが続いており、資金繰り等への不安から新規融資について消極的な企業が多くみられる旨の報告があった。

<製造業> ◇…一部業種で仕事量・売上が増加傾向になるも、人手不足、従業員の高齢化が深刻な製造業…◇

製造業の業況DIは、先月と比べわずかに改善した。特に売上額DIが大幅に改善した一方で、採算DIは不変、資金繰りDIはわずかに悪化した。経営指導員からは、生産用機械器具、輸送用機械器具、電子部品製造業では、仕事量が増え、売上も増加しているとの報告があった。一方で、昨年まで売上が好調であった建設機械部品製造業は受注量の減や漆器などの伝統工芸品の製造業や水産食料品、菓子製造業では人手不足、従業員の高齢化が顕著となっているとの報告があった。

<建設業> ◇…公共工事に代わり民間工事に好調の声のあるも、燃料費や人件費増により冷え込み続く建設業…◇

建設業の業況DIは、先月と比べわずかな悪化となった。先月2桁の改善を示した売上額DIは小幅に悪化し、採算DIと資金繰りDIは不変であった。一般住宅建築や土木建設関連などは売上が好調であった。一方で、ここ数ヶ月続いている人手不足は依然として解消されず、また、鉄筋やコンクリート等の資材価格、軽油やガソリン等の燃料価格が上昇し、厳しい状況が続いている。

<小売業> ◇…一部で売上が好調も、仕入価格上昇や大型店等との競争激化する小売業…◇

小売業の業況DIは、2ヶ月連続でわずかに改善した。売上額DIと採算DIは大幅改善、資金繰りDIは小幅に改善した。観光客の取り込みや定期的な売り出し日を定めている店舗では人口減少や買い控えが続く現状においても売上を確保している。しかしながら、大型店やドラッグストア、コンビニエンスストア等との競争が激しさを増しており、また、水産物やガソリン等の燃料の仕入価格の上昇を販売単価に価格転嫁ができず、利益幅が縮小しているとの報告があった。

<サービス業> ◇…先月から一転改善を示すも、仕入価格や燃料費の上昇により収益悪化が懸念されるサービス業…◇

サービス業の業況DIは、2ヶ月連続してわずかに改善した。項目別に見ると、売上額DIと採算DIが小幅な改善、資金繰りDIはわずかに改善した。宿泊業や観光関連サービス業では、春休みシーズンに入り観光客増により改善している。飲食業では送別会開催により売上が向上している。他にもネイルサロンやアロマエステといった業種の開業が見られたり、ペット関連のサービス業の売上が増加傾向にあるなど、新しい動きが目立っている。一方、ノーアイロン衣料品など機能性の高い商品の出現によりクリーニング離れが生じてきたことや水産物の仕入価格の上昇、旅客運輸業では燃料費の上昇により収益が悪化気味との声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 19.9	▲ 16.9	3.0	▲ 15.1	▲ 8.4	6.7	▲ 7.2	▲ 11.1	▲ 3.9
採算	▲ 21.2	▲ 18.8	2.4	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 0.1	▲ 19.8	▲ 20.1	▲ 0.3
資金繰り	▲ 16.3	▲ 15.4	0.9	▲ 11.9	▲ 13.8	▲ 1.9	▲ 16.1	▲ 15.9	0.2
業況	▲ 20.6	▲ 20.2	0.4	▲ 16.4	▲ 15.0	1.4	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 0.9

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 34.2	▲ 28.7	5.5	▲ 23.0	▲ 19.6	3.4
採算	▲ 29.8	▲ 23.3	6.5	▲ 19.0	▲ 15.4	3.6
資金繰り	▲ 22.3	▲ 19.0	3.3	▲ 14.7	▲ 12.8	1.9
業況	▲ 30.6	▲ 29.9	0.7	▲ 21.0	▲ 20.3	0.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

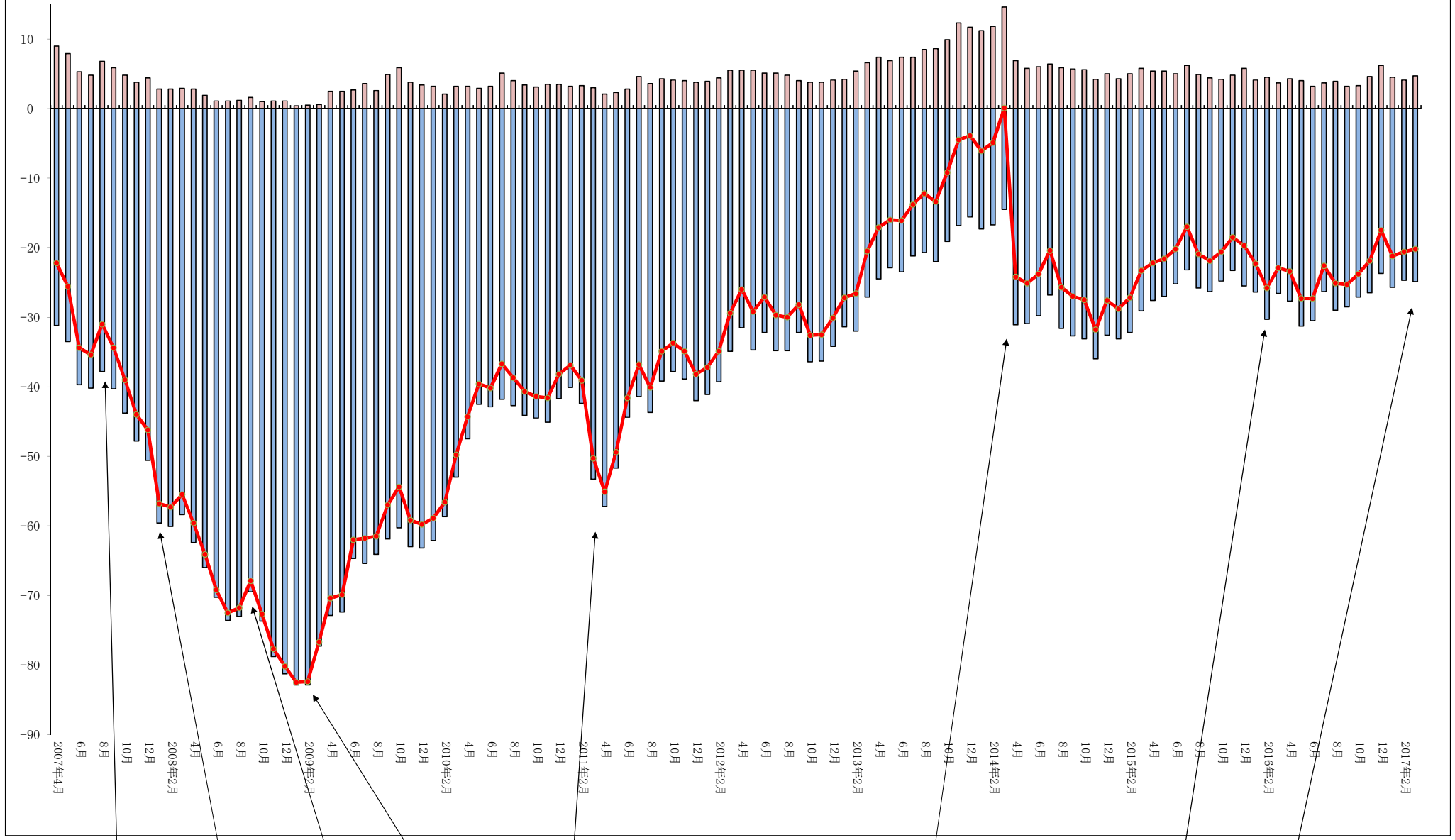
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

17年/3月
-20.2

小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・入込観光客は、3月中旬以降学生、一般ツアー客、海外旅行客などが増加してきた。例年よりツアー客、海外客が増加傾向であり、今シーズンは、地域経済への波及効果にも期待している。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・地域の経済状況は安定傾向にあり、求人等に関する相談が増加している。また、設備投資等の融資相談も増加している。

(山口県山口県央商工会)

・政府系金融機関の融資申込みが地元金融機関から借入ができた途途中で取下げになるケースが増えている。エリア外の信用金庫などでの借入れも目立つようになり金融機関同士の競争により事業所に有利な金利での借入れも目立つ。

(広島県三次広域商工会)

・昨年より積雪量が多いため、スキー客を対象とする宿泊業や宿泊事業者を販売先とする小売業等は前年同月よりやや改善している一方、人口の減少・高齢化の進行により地元客中心の小売業やサービス業では景気回復の見通しが立たない。

(新潟県妙高高原商工会)

・町の主幹産業である観光業(宿泊等)は堅調。金融機関の貸出態度は、熊本地震に係るセーフティネット4号の指定が延長されたこともあり良好である。

(大分県九重町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・人件費や原材料が上昇傾向にあり、依然、収益性の改善の目途が立っていない。金融機関の貸出態度は以前より若干厳しい面も見えるが概ね変化なし。

(長崎県三重商工会)

・極端な悪化は見られないものの、景況全体としては消費の伸び悩みが続いており、資金繰り等への不安から新規の融資について消極的な企業が多く見受けられる。

(秋田県白神八峰商工会)

・少子高齢化が進む中、消費流出が一段と厳しさを増し、小売店舗の廃業が進むなど厳しい経営環境にある。金融機関の貸出態度は積極だが資金需要は低調。

(青森県市浦商工会)

・平成28年分の青色申告の納付状況を見る限り、廃業者が多く、全体的な景気は、やや悪化が続いている。金融機関の貸出状況では、商工会を介しての貸出状況は資金需要が僅少である。金融機関の現在の貸出金利は今はかなり安くなっている。そのため、メインの金融機関から低利で借りるケースが増加している、と考えている。

(石川県山中商工会)

・求人を出しても人が集まらず全般的に労働力不足が見られる。特に建設業や介護サービス事業者、小売業等で顕著であり、今後の雇用対策においても人件費の増大等コストの上昇が懸念されている。

(青森県大畑町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・製造業者については、特に工場内の生産用のロボットを作っている製造業者が非常に忙しいということで、中には今年の後半まで受注が入っており、それでも断っている状況だという企業もあった。

(東京都羽村市商工会)

・食品製造業は、受注は順調に推移している。人手不足のため機械化して省力化を行えるよう設備投資を計画している。材料費は値上がり傾向である。

(香川県さぬき市商工会)

・プラスチック関連の製造業は、関連製品の需要増加により、仕事量が増え、売上も増加傾向になっている。

(岐阜県安八町商工会)

・自動車関連の製造業は、仕事量が増えてきており残業で対応しているところが多く見られる。利幅は薄い仕事が多いが、数は増えてきている。

(静岡県新居町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・金属関連の製造業は、引き続き小ロット受注のため、収益がなかなか上がらない状況になっている。

(奈良県平群町商工会)

・配電盤やインフラ整備(通信関連)に関連する製造業では、受注は減少傾向にあり派遣社員の更新打ち切りが見られます。

(山形県南陽市商工会)

・当地は、漆器産業が中心である。後継者の有無、とりわけ育成が焦点になっている。すなわち、進んでいる事業所に受注量が比較的集中し、そうでないところは減少傾向にある。また、高齢化による廃業が多くなっている。

(石川県山中商工会)

・建設機械部品加工業において、昨年までの好景気の時と比べて受注は減っている。

(香川県高松市中央商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・昨年に比べ今年は1～2月に除雪が多く、今月の資金繰り等は安定しており、3月に入り徐々に仕事量も増加している。

(長野県小布施町商工会)

・一般住宅建築関連の建設業は、一部で県内での新築着工件数の伸び悩みから、県外から積極的にも受注を増やし売上を増加させている企業も出てきている。

(秋田県白神八峰商工会)

・一般住宅関連の建設業は、新築住宅とリフォーム関連の受注が前期比と比べ増加し、工事高や経常利益は増加している。

(青森県大畑町商工会)

・年度末の為、工事等から土木建設関係の事業所、ビルメンテナンス等の既設建物サービス関係の事業者は仕事も多く、売上も好調であった。

(広島県広島安佐商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・受注に継続性が見られるが、下請けが中心で収益がそれほど上がっていない。

(長崎県三重商工会)

・資材価格、ガソリン等の燃料価格の上昇と職人や若年技能工の確保が難しく、厳しい状況が続いている。

(富山県射水市商工会)

・建築関連の建設業は、公共施設の大型の建物案件が一巡し、一部で見通しが立たない業者が出てきている。

(石川県中能登町商工会)

・業界全体で仕事はあるけど、職人不足で受注を控えているというケースが目立つ。人材不足が結果的に職人日当の上昇、完成物件の価格上昇につながっているのではなかろうか。

(福岡県筑前町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・地域内需要としては、人口の減少から、先行き厳しい景況感ではあるが、観光消費や、物流などによる域外需要などを開拓する企業は持ち直している。

(広島県呉広域商工会)

・地元客中心の小売業は人口の減少・高齢化に伴う売上減少傾向に変わりはないが、スキーなど観光客中心の小売業は豊富な積雪量でスキー場が営業を続けているため前年より改善している。

(新潟県妙高高原商工会)

・建築関連小売業は建設業の好調もあり好調である。

(熊本県菊池市商工会)

・先行き不安から食料品などの必要なもの以外、買い控え感が強い。どこも安売りする時間帯、ディスカウント日には多くの消費者が詰めかけている。

(石川県志賀町商工会)

・衣料品は好天が比較的多かったため、春物の出足がまあまあ良。併せて冬物バーゲン実施により、売上は堅調傾向。

耐久消費財は3月初めより新生活者向け商品がやや好調。

(富山県射水市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・対馬は漁業が基幹産業の一つであるため、顧客でもある漁業者の不漁による所得の低下により、地域の小売業者についても売上について一部あおりを受けている。加えて、地元産の水産加工品について取り扱い品目が減少傾向にある。

(長崎県対馬市商工会)

・食料品関連の小規模な小売業者は地区内外の大型スーパーやドラッグストア等との競争の激しさが続いており、客数や売上の減少等により業績も悪化傾向である。

(青森県大畑町商工会)

・ガソリン販売関連の小売業は、現在はキロ当たりの単価が上がっていることにより、売上自体も高い。しかしながら、ガス販売事業については、人口の減少とともに高齢化により、販売件数も減少の傾向にある。

(愛媛県長浜町商工会)

・乳製品等の食料品の仕入単価が上昇中であるが、販売単価への転嫁が進まず、利益幅の縮小につながっている。コンビニ等ではフルパート職員の確保ができず、求人難。

(埼玉県吉見町商工会)

・地域において大手コンビニがこの数年で3倍近くまで増えており、一般小売業者では売上の減少が止まらない状況になっている。

(鳥取県米子日吉津商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

- ・宿泊業、観光関連サービス業については、観光客増の影響で前年よりやや改善
(鹿児島県屋久島町商工会)
- ・送別会開催が比較的多く、例年より売上向上。ただ、仕入値も上昇傾向で不安材料となっている。(飲食店)
比較的売上向上が実感できた。卒業シーズンの特需によるものだが、全くなかった事業所もあり地域間でも差がある
様子(理美容業)
(宮城県栗原南部商工会)
- ・宿泊関連のサービス業は、3月末までの市の宿泊支援事業により売上は増加している。
(秋田県北秋田市商工会)
- ・ネイルやアロマエステと言った業種の開業が多い。また就活カウンセラーやコーチングといった新しいジャンルで開業する
方も出てきている。
(千葉県横芝光町商工会)
- ・ペット関連のサービス業は、消費者のペットに対する支出が年々増加傾向にあり、売上が増加傾向にある。
(岐阜県安八町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・飲食関連のサービス業は、例年3月末まで提供できていた牡蠣料理が、牡蠣の不漁により3月はほとんど提供でき
ていない状況。
(静岡県新居町商工会)
- ・2月の降雪からキャンセルはあったが、3月に入り宿泊客は例年並み戻った。しかし、日本海の荒波により不漁続きで
冬の味覚のカニは高騰続いている。
(兵庫県新温泉町商工会)
- ・自動車修理関連のサービス業は、暖冬の影響からか交通事故に係る钣金修理の受注が減少しており、資金繰りに
影響を及ぼしている。
(青森県大畑町商工会)
- ・クリーニング関連のサービス業は、ノーアイロン等衣料品の機能が充実し、若者のクリーニング離れの影響で、売上は
減少してきている。
(石川県中能登町商工会)
- ・旅館関係のサービス業は、送別会シーズンで稼働はあるものの、利用金額と回数などは減少傾向のところが多い。
代行もそれに伴い、利用者が減少傾向とのこと。
(秋田県かづの商工会)
- ・旅客運輸関連は燃料費がジリジリと上昇し、収益的にはやや悪化気味であった。これ以上の高騰は経営に大きく
影響を及ぼす。
(宮城県みやぎ仙台商工会)